

13期 関西ぶらり散策

5月21日(水)

3班担当



JR島本駅に集合し、私達Aグループ3班は→史跡桜井の駅→島本町歴史資料→待宵小侍従の墓・顕彰碑→桜井ノ駅射撃場跡→水無瀬神宮→阪急水無瀬駅とガイドさんの説明を聞きながら巡りました。



史跡桜井駅跡公園



延元元年足利尊氏率いる大軍を迎え討つため、京を発った楠木正成が、ここ桜井の宿で長子正行に遺訓を残し河内へと引き返らせた「太平記」に記されている。大正10年に国史跡に指定された。



島本町歴史文化資料館 (旧麗天館)

昭和16年に、史跡桜井駅跡の記念館として建てられた。西国街道を中心に後鳥羽上皇を祀る水無瀬神宮や史跡桜井駅前跡など数々の文化財を紹介している。また、縄文時代から近世にわたる遺跡の出土品も展示している。



まつよいのこじじゅう
待宵小侍従の墓
・顕彰碑

松宵小侍従は「平家物語」にも登場する平安～鎌倉初期の有名な女流歌人である。「待つ宵にふけゆく鐘の声きけば あかぬわかれのとりはものかは」と、恋人を待ちわびる歌の他6首とともに「新古今集」に入っている。



桜井ノ駅射撃場跡

昭和 15 年帝国在郷軍人会大阪支部によって建設された。戦後はサツマイモ畑になり、その後町営住宅が建ったが、現在は薬品会社の敷地になっている。



水無瀬神宮

水無瀬神宮では、後鳥羽天皇、土御門天皇、順徳天皇を祀っている。重要文化財の客殿、茶室に加え平成 28 年に本殿他 4 件が国登録有形文化財となった。



暑い中、熱心に説明くださった「ふるさと島本案内ボランティアガイドの会」の皆様、ありがとうございました。